

平成18年度第一回人材技術委員会『若手交流会』実施報告

当委員会では恒例になりました、各社今後の若手への人的交流或いは情報交換の場として活用頂きたく、人材技術委員会参加企業による『若手交流会』を開催致しました。

今年度第一回目（3回シリーズの2回目）は、若手による自主運営をポイントとし、「どの様にこの会を利用するか/この会のあるべき(求めている)姿とは」をテーマに、ブレインストーミングとKJ法を利用し討議を行い発表して頂きました。若手による自主運営で討議を進めた関係もあり、全員が積極的に参加し活発な意見交換が行われました。

今年度第二回目（3回シリーズの3回目）の開催に関しましても、次回発表テーマ等も含め若手を中心に検討頂き、より掘り下げたテーマで推進頂く予定です。各社の魅力ある若手の方々が、会社の枠を越え、今後の宮城県IT業界を今以上に活性化させて行く事を願ってやみません。今回参加された各企業様、若手の皆様御忙しい中、有難う御座いました。また、今回ご都合により参加出来なかった企業様も是非次回ご参加頂ければ幸いです。

1. 開催概要

- ・ 実施日時：2006年8月24日（木） 17:00～21:00
第一部：発表会 17:00～19:00
第二部：懇親会 19:30～21:00
- ・ 開催場所：ホテルユニサイト仙台
- ・ 参加対象者：人材・技術委員会各企業様リーダー及びそれに準ずる方々（各社1～2名）
- ・ 参加人数26名（参加企業数12社、若手16名）
- ・ 参加費：4,000-

2. 内容

第一部発表・検討会（17:00～19:00）進行：若手リーダー（荒井殿）

平成18年度第一回若手交流会テーマ

更に意味（意義）のある会にする為には
「どの様にこの会を利用するか」
「この会のあるべき（求めている）姿とは」
を、参加メンバー自身で検討します

3. 発表内容（骨子）

- (1)Aチーム (株)システム・ワン 阿部殿
(株)アテネコンピュータシステム 佐藤殿
(株)ビッツ 相原殿
サイバーコム(株) 高橋殿
(株)ジャパンエンジニアーズ 桜井殿
-実現可能な現実的な内容でまとめる-

- ・技術交流の場 → 開発事例紹介／アイデア商品の企画
- ・親睦を深める場→ボーリング／野球／ゴルフ等→イベントをポイント制とし
合同忘年会時ポイント発表、各種飲み会
- ・その他 →交流会活動の結果の報告（M I S AのHP）／会社間イン
ターンシップ／意見交換会とペアにした社外講習会

(2)Bチーム コンピュータマネジメント㈱ 藤田殿

㈱システム・ワン 山路殿

㈱アテネコンピュータシステム 染谷殿

サイバーコム㈱ 桜田殿

㈱ジャパンエンジニアーズ 五十嵐殿

キャッチフレーズ：また来たくなる心の交流会

→その為にはどうするか？

- ・短期間で多く開催
- ・同じメンバーが参加
- ・幹事を持ち回りにし、若手中心に行う
- ・この場以外での集まり（趣味、サークル等）
- ・テーマを抜きにした集まり

(3)Cチーム ㈱アートシステム 五ノ井殿

㈱ビッツ 高橋殿

㈱S R A東北 大森殿

東北日本電気ソフトウェア㈱ 上原殿

システムニコル 相沢殿

ボトムアップの活動にしたい→集まることが最重要→本音で話せる場

①入りやすくしよう！

- ・入ったら次も出たい場にする（各社のサークルや部活／交流会以外の場
での交流／人の出入りも自由に／開催ス
パンを調整（短く）／さまざまなテーマで）
- ・情報発信のツールを持つ
- ・脱オプザーバ宣言（自分たちの本音で自立してやりたい）

②楽しい交流の場にしよう！

- ・飲むべし→本音で語れる場
- ・男が多い→女性も含め幅広い集まり
- ・皆で協働で何かを行う

③視野を広げよう

- ・各技術テーマ領域
- ・精神論を討議→答えの出ないものを正直ベースで議論したい

(4)まとめ ㈱アートシステム 荒井殿

いろいろな内容がでましたが、発表内容にもあるように、すぐできることは若手中心で主体的に活動していきましょう。また今回内容を再度検討し、次回のテーマにつなげて行きたい。

*極力発表内容の表現でまとめています。若手の意図するところを、ご推察願います。

4. 平成18年第一回若手交流会参加者名簿

参加企業及び参加者一覧(◎●は若手参加者(●は前回参加者))—12社26名(内若手10社16名)—

参加企業様(順不同)	参加者(敬称略)	所属・役職
(株)アテネコンピュータシステム	●佐藤 剛司 ◎染谷 栄美 鈴木 利信(欠席)	仙台事業部 仙台事業部 (当委員会委員長)専務取締役兼 仙台事業部長
(株)アートシステム	●荒井 勝広 ●五ノ井 琢磨 鈴木 博幸	マネージャー リーダー (当委員会副委員長)常務取締役
サイバーコム(株)	●高橋 直紀 ●桜田 博志 佐藤 文昭	課長 リーダー (当委員会副委員長)常務取締役
(株)ビッツ	●高橋 信也 ◎相原 英典 大森 清視	東北事業所 第二システム部 東北事業所 第一システム部 東北事業所 所長
(株)SRA東北	◎大森 浩 阿部 嘉男(欠席)	システム部長
(株)システム・ワン	●阿部 勇雄 ●山路 彰博 高橋 貴紀	商品開発部/係長 商品開発部 専務取締役
東北日本電気ソフトウェア(株)	●上原 誠 北村 昭	事業企画部 OSSソリューションセンター 品質管理本部 マネージャー
コンピューターマネージメント(株)	●藤田 剛 赤松 康治	仙台営業所 所長
(株)ジャパン エンジニアーズ	◎櫻井 健 ◎五十嵐 学 寺野 克則	仙台第一営業所 課長 仙台第一営業所 一般
システムニacol(株)	◎相澤 敏幸 工藤 栄幸	
(有)マインドアクセス	今野 寿道	代表取締役
(株)エスエスイー	島村 新治	受付 仙台事務所 所長

5. 収支報告

収入

参加費 4,000-×26(名) = 104,000-

支出

会場費 14,000- (2時間:税込み)

1時間 7,350- (研修会の時間分のみ、懇親会費は会場費込み)

事務用品費 2,217-懇親会費 104,000- (税込み ビール、ウイスキー、焼酎、ソフトドリンク飲み放題
料理10品程度)支出合計 120,217- (税込み)収支 104,000-120,217=-16,217 (委員会負担)

以上